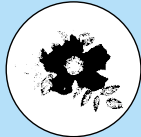
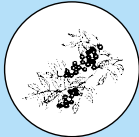


おこっぺ



町の花ハマナス



町の木ナナカマド

議会だより

第153号

平成30年8月14日

発行／☎098-1692 紋別郡興部町旭町 興部町議会

TEL (0158) 82-2135
FAX (0158) 82-2990

編集／議会広報特別委員会



エリーゼの会ピアノ発表会

第2回町議会定例会 P2～4

町政ここが聞きたい!!・議員活動報告 ...P5～7

総務社会常任委員会所管事務調査報告 P8

産業建設常任委員会所管事務調査報告 P9

北海道町村議会議員研修会報告・編集後記 P10

平成30年 第2回 町議会定例会のあらまし

平成30年第2回定例会は、6月19日(火)開会され、町長の行政報告、承認2件、報告1件、議案15件、発議2件、計20案件が審議されました。

町長行政報告

興部北興バイオガスプラントの運転状況

稼動から約1年半経過した興部北興バイオガスプラントの平成29年度の稼動状況については、原料の搬入から消化液の搬出までの一連の施設運転は順調に進んでいる一方で、バイオガスの発生量及びオコッペ・バイオエナジー社による発電量については、計画していた期待値を若干、下回っている状況です。しかし、運転管理方法が安定してきていることから、今後の実績増が見込まれます。また、施設で生産し、散布している消化液の効果測定などについては、農業科学研究センター等と連携しながら、随時分析データの収集に努めています。

教育関係の状況

興部高等学校への新入学生徒については、入学出願

者全員が合格し、入学者は22名となったところで、今後も興部高等学校間口確保対策協議会及び、西紋地区教育文化振興会が中心となり継続した支援を行っていきます。

次に、新興部中学校の関係ですが、去る4月6日に来賓、保護者、生徒及び関係者など約220名が出席した中で、開校式並びに入学式を挙行しました。入学式では新1年生26名を迎えて、興部中学校の新たな歴史がスタートしたところで、今後は残されている旧校舍解体工事や外構工事等を行い、年度内には関連工事の全てが終了する予定です。

農作物の作況

本年の1番牧草は、天候及び気温にも恵まれ、平年より3日早い生育で、収穫量・栄養価ともに昨年を上回ることが期待されていましたが、6月12日から続いた長雨と低温の影響による

収穫の遅れなどが懸念されています。

また、飼料用トウモロコシは、牧草同様、天候と気温に恵まれ、発芽・生育ともに順調に進んでいます。



牧草収穫作業

生乳生産の状況

今年度の計画乳量は5万260tで、5月末現在の生産乳量は、昨年同期で0・2%の減、計画乳量対比では0・6%上回る、2万4千873tとなっています。

漁業生産の状況

本年度の水揚計画数量

は、前年計画比50%増の1万8千79tで、毛ガニ漁は昨年対比5%減の97t、さけ定置網漁は5%減の1千800tです。

ホタテ漁は前年計画に対して80%増の1万4千200tの計画で低気圧被害による減産から回復しつつあります。また、4月19日には沙留漁業協同組合・ほたて貝漁業生産部会のご厚意により、本年もホタテの無料配布が行われました。

5月末現在の水揚げ量は、ホタテ漁では前年同期比189%増の1千936t、毛ガニ漁では67%減の22tです。今年には管内的にも不漁となっているため、後半の漁に期待しています。

ホタテの稚貝放流は、4月20日からC海区に2億1千900万粒の放流計画で、地方産については、6月2日に放流を終え、地元沙留産については、5月10日から放流し、6月5日に終了しています。また、6月4日よりホタテ漁

の本操業が開始されました。



ほたて漁

建設工事の発注状況

6月1日現在で土木・水道工事35%、建築工事32%となつています。残余の工事についても準備が整い次第、随時発注します。

専決処分を承認した案件

○平成29年度興部町一般会計補正予算
(専決処分第4号)
補正額は1千365万6千円を追加し、歳入歳出それぞれ55億4千817万9

千円とし、原案どおり可決した。

補正内容は、興部町子ども・子育て支援事業の負担金及び補助金の増額、合併処理浄化槽設置事業の設置件数増に伴う補助金の増額、及び町道維持管理事業の除雪費増額。

○平成29年度興部町国民健康保険事業特別会計補正予算
(専決処分第1号)

補正額は、329万2千円を追加し、歳入歳出それぞれ6億5千968万6千円とし、原案どおり可決した。

補正内容は、一般被保険者療養給付費の増額、一般被保険者高額療養費の増額。

一般会計補正予算(第1号)

補正額は93万円を追加し、総額47億8千193万円とし、原案どおり可決した。

歳出の主なもの

○職員人件費

748万円減

○公共下水道事業特別会計繰出金

797万円増

特別会計補正予算

特別会計5会計で補正予算提案され、原案どおり可決した。

○興部町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

補正額は5万円を追加し、総額5億7千295万円とした。

補正内容は、償還金の増額。

○興部町後期高齢者医療に関する特別会計補正予算(第1号)

補正額は、90万円を追加し、総額6千514万円とした。

補正内容は、保険料還付金及び還付加算金の増額。
○興部町介護保険事業特別

会計補正予算

(第1号)

補正額は、5万円を追加し、総額2億9千982万円とした。

補正内容は、第1号被保険者保険料還付金の増額。
○興部町簡易水道事業特別会計補正予算

(第1号)

補正額は、115万円を追加し、総額2億4千566万円とした。

補正内容は、人事異動に伴う人件費の増額、水道用量水器件数の増に伴う機械器具費の増額。

○公共下水道事業特別会計補正予算

(第1号)

補正額は、797万円を追加し、総額3億1千410万円とした。
補正内容は人事異動に伴う人件費の増額。

過去の議会だよりを町ホームページに掲載しています！

過去の議会だより（第96号平成15年7月発行分から）を町ホームページから見る事ができますので、是非ご覧ください。

○ 町ホームページアドレス <http://www.town.okoppe.lg.jp/>

報告された案件

○平成29年度興部町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

改正された条例

○町職員特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

○興部町税条例等の一部を改正する条例

○興部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
○興部町介護保険条例の一部を改正する条例

その他議決された案件

○元町団地建築主体工事
契約金額 9千288万円

契約の相手方
株式会社藤野屋建設

○旧興部中学校解体工事
契約金額 9千136万8千円

契約の相手方

新島工業株式会社

○興部中学校外構工事

契約金額

1億7千917万2千円

契約の相手方

三和・服部経常建設共同企業体

○興部中学校屋外管理棟外建築工事

契約金額

6千663万6千円

契約の相手方

株式会社藤共工業

○財産の取得

学校給食配送車購入
取得価格 883万4千400円

契約の相手方

東北海道日野自動車株式会社紋別営業所

意見書の採択

①教職員の超勤・多忙解消・「30人以下学級」の実現、義務教育費国庫負

担制度堅持・負担率1/2への還元、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書

賛成者 矢野 幸三議員

賛成者 前田 義雄議員

賛成者 佐々木忠行議員

賛成者 地方公務員法、地方自治法の一部改正について実態把握に向けて必要な調査を行うこと。一般職非常勤職員制度に必要な財源については、地方財政計画に反映させるなど、その確保を確実にすること。

現に任用されている臨時・非常勤等職員の雇用確保及び労働条件を維持するよう自治体に適切な助言を行うことなどを求める意見書。

提出者 小泉 優子議員

賛成者 佐藤 吉春議員

賛成者 矢野 幸三議員

賛成者 前田 義雄議員

賛成者 佐々木忠行議員

・「30人以下学級」の早期実現にむけて、学級編成標準を順次改定すること。

給食費、修学旅行費、教材費など保護者負担の解消、就学援助制度・奨学金制度の更なる拡大、高校授業料無償化など、国の責任において教育予算の十分な確保、拡充を行うことなどを求める意見書。

提出者 小泉 優子議員

賛成者 佐藤 吉春議員

賛成者 矢野 幸三議員

賛成者 前田 義雄議員

賛成者 佐々木忠行議員

地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

提出者 佐藤 吉春議員

賛成者 小泉 優子議員

②地方公務員法及び地方自治法の一部改正における新たな一般職非常勤職員の処遇改善と雇用安定に関する意見書

提出者 佐藤 吉春議員

賛成者 小泉 優子議員

提出者 佐藤 吉春議員

賛成者 小泉 優子議員

提出者 佐藤 吉春議員

賛成者 小泉 優子議員

提出者 佐藤 吉春議員

賛成者 小泉 優子議員



主役はあなたです！

議会を傍聴してみませんか

○次回定例会は9月です○

手続きは、傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけ

町政ここが聞きたい!!

問

不妊治療から妊娠、子育てにおける町の支援について!!

藤渡 昭博 議員

答

子ども・子育て会議の中で安心して子育てを育てられる環境づくりを十分に検討します

裕 一寿 町長



藤渡 議員

不妊治療は身体的にも精神的にも負担が多く、経済的な理由から十分な治療を受ける事が出来ず、子供を持つことを諦めざるを得ない人も少なくありません。不妊に悩む人たちをいかに地域で支えていくか、大変重要なことだと思います。町としても不妊治療に助成すべきと考えます。

裕 町長

この地域で特定不妊治療ができる所は北

藤渡 議員

見、旭川、札幌です。治療費そのものは道の補助であらあら賄えるそうですが、交通費の負担が大きくなったり、その前段で話を聞いたり、検診を受けたりする経費もばかになりません。町としては更に勉強し、保健所などの話も聞き、できれば実際に興部町の場合であればどのくらいの負担が必要なのかという事も調査させていたいただきたい。

対象として出産を迎える夫婦の不安を和らげるための勉強会を、出産を迎える夫婦同士の仲間づくり場として定期的に開いていただきたい。また、興部町には子育てサークル「おこびよ」があります、定期的に保

健師が訪問し、育児、子育ての不安や悩みを気軽に相談できる場も作っていただきたい。他市町村では、子育て支援センターを作り、そこを子育て支援に関する総合的な相談窓口として妊娠から就学前の乳幼児とその家族に対し育児の不安や悩みに応える相談を実施し、子供同士、親同士のふれあいの場を提供し、子育てに関する各種講座などを開催しています。興部町にも幼保連携型認定こども園の構想があり、そこに子育て支援センターの機能を盛り込むとのことですが、妊娠から子育てと切れ目のない支援は重要であり、子育てを総合的に相談できる窓口は必要です。認定こども

裕 町長

園が整備されるまでの間、子育て支援センターの機能を持った部署を設けることは出来ないか。

て、特に結婚して子供を育てる若い親たちからの相談や、子供たちが元気に育つような支援について町では子ども・子育て会議を設置し、検討しています。また、はまなす幼稚園と保育所の統合も含め、認定こども園や子育て支援センターの設置についても検討しています。認定こども園が出来る前にそういう機能をアップさせるべきなのかについても、今後十分に検討します。

藤渡 議員

子育て支援センターが中心となって子供の一時預かり事業を行って

るところがあります。学校、保育所、幼稚園等の開始前や終了後にお子さんを預かり、保育所、幼稚園等の送り迎えをします。時には子育てを離れ、スポーツ、ショッピング、講演会等、夫婦や自分自身の時間を持つためのお手伝いをします。地域ぐるみで子育て支援を目指す意味でも、一時的に子育てから開放されリフレッシュして頂くお手伝いを町がするというのも今後あるべき姿だと思います。不妊治療から妊娠、出産、育児、子育てと切れ目のない支援が行われていくことが重要であり、子供を産み育てやすい環境づくりを進めることが町の大きな責任です。職場が興部町で、近隣の町から通勤している人も少なくありません。町がこのような施策を行うことが興部町へ住む一助となればと思います。若い世代を呼び込める施策を進めることが興部町の将来に繋がると考えます。

裕町長

子ども・子育て会議の中で出てくることは、トータルした中でどのように安心して子供を育てられるかという事です。子育てができなくて起きた不幸な事例を毎日のようにテレビで見えています。預かり保育や子育てヘルパー等、お母さん、お父さんも子育てから離れてリフレッシュする必要があるので等も十分に検討します。また、施設だけでなく、どのような形で人の確保をしながらこのようなサービスができるかという事も前向きに考えたい。

問 観光協会事務所を「道の駅」へ移す考えは!!

答 観光協会と相談するがまずは協会の考え方を



前田議員

町の総合計画の観光振興の中で「町の観光は通過・立寄り型の来訪者が主である。従って「道の駅」を観光発信拠点として特産品販売や観光案内機能

裕 一寿町長

前田 義雄 議員

の向上を図り、より一層の集客と地域の賑わいの場とする」と謳っている。また、当町の人の出入りの中心が「道の駅」である。事業内容からも中心になる観光協会の事務所は「道の駅」にあるべきと思う。観光協会事務所（本部）を今の役場二階の隅っこから移転させる考えはないか。

観光協会は「町」として観光事業に対して力を入れていきたい」として

議会の動き

平成30年5月9日以降	5月9日	興部町暴力追放運動推進協議会	総会
10月11日	道東4地区町村議会議長会連絡会議	総会	
15日	オホーツク町村議会議長会定期総会	総会	
18日	興部町商工会通商総会	総会	
20日	興部消防団連合消防演習	総会	
23日	総務社会常任委員会所管事務調査	総会	
25日	産業建設常任委員会所管事務調査	総会	
25日	議会全員協議会	総会	
	西紋別地区総合開発期成会要望活動	総会	

展開を固めていく時間と当初の町の計画もストップしているもので、これらの点も整理し協会とも相談し、考えていきたい。

前田議員

地域おこし協力隊の募集を始めたが、応募者がないと聞いている。最近、キャリアや実績のある方を高給で求める自治体も珍しくない。受け入れる側にポリシーがないと来てくれない時代でもあると思うが見通しについては。

碓町長

協会が出来たばかりで如何に収益事業を含め独立した組織にする事が大事。観光の考え方、ポリシーがない中で専門家を雇うのは無理。協力隊も定住・移住型でないと難しいとも聞いている。募集方法等も検討し確保したい。

前田議員

商工会が空店舗でチャレンジショップ事業を始めるが、町も空店舗・空住宅を利用し事務所を移転する考えはないか。また、大きな建物を確保し、物販所を含め、先の「小さな拠点づくり」の様な構想はどうか。

碓町長

協会も従来のイベントの実施でギリギリの状態です。地方創生事業での提案も見直している。新しい展開をするにはどのような施設が必要か、街の再開発という事も視野に入れ、お金もかかるので有利な事業を持つてくる等議会や協会と相談し、人の体制・組織・計画づくりを進めていきたい。

前田議員

協会の体制が整わない中で広域観光推進事業、西紋連携地域モデル事業が進められている。早期の取組が必要ではないか。

碓町長

西紋五市町村と進めている事業とリンクしながら独自の体制も作らねばならない。急いで計画づくりを進めていきたい。

前田議員

協会本部を地域振興センターの一室を使いなり役場の隅っこから目につく所へ出し、大きな看板でも上げるべきでは。

碓町長

協会と相談させ

でもらうが、不便な事は十分承知している。全体の計画との関連で考えていきたい。

議員活動報告

議会全員協議会

議長 山川 孝義

5月23日、6月5日協議会を開催し理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行った。

5月23日

○平成30年度議会報告会（意見交換会）の結果について

6月5日

- 興部中央公民館における長寿命化改修について
- 興部町国民健康保険税条例の一部改正について
- 興部町介護保険条例の一部改正について

○町職員特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

○平成30年度議会報告会（意見交換会）の結果について

議会運営委員会

委員長 佐藤 吉春

6月14日委員会を開催し次の事項について審議した。

6月14日

○平成30年第2回議会定例会について

28日	オホーツク圏活性化期成会定期総会
29～30日	遠紋地区市町村議会議長会総会及び研修会
6月3日	興部中学校運動会
5日	議会全員協議会
10日	第9回議会改革特別委員会
12～13日	興部小学校運動会
14日	北海道町村議会議長会定期総会
19日	議会運営委員会第2回町議会定例会
27～29日	議会広報特別委員会
29日	西紋別地区総合開発期成会要望活動
29日	議会広報特別委員会

所管事務調査報告 総務社会常任委員会

総務社会常任委員会は、5月23日に介護保険、医療保険制度改正による町への影響調査について介護支援課より説明を受けました。

厚生労働省は、65歳以上の高齢者が今年4月から3年間に支払う介護保険料(月額)は全国平均5千869円と発表しました。高齢化の進行で3月までの5千514円から355円増え、介護保険制度が始まった2000年度当時の2千911円の2倍を初めて越えました。北海道は全国9番目に低い5千617円。7年後の25年度には約7千200円、高齢者人口がピークに近づく40年度に約9千200円まで上昇すると推計も出ています。65歳以上の保険料は、市区町村

や広域連合ごとに決められ3年に一度見直されます。高齢化が一層進み、サービス利用者が増えていることなどが保険料上昇の要因となっています。高齢化率、

要介護の認定率が高い自治体ほど保険料が引き上がり、興部町などのサービス提供事業者が少ない自治体は保険料が低く抑えられる地域もあります。5月22日の新聞報道では興部町は全国4番目の保険料の低さとのことです。今後、興部町で事業者、福祉施設などが増えていきますと保険料が上がる要素となります。当町では第6期興部町総合計画に沿って福祉の充実を図っていくとの説明でした。介護保険料は、介護保険運営のため、40歳以上が支

払う保険料です。介護サービスの費用は利用者の自己負担(1/2割)分を除き、税金と保険料で半分ずつ賄います。

40歳～64歳の保険料は毎年度改正され、65歳以上の保険料は3年に一度見直され、低所得者には負担軽減制度があります。介護保険料、後期高齢者医療制度については、広報おこっぺ6月号情報ひろばに詳しく掲載されています。

(記：総務社会常任委員会
委員 佐々木 忠行)



7月1日	遠軽駐屯地創立67周年記念式典
3～4日	北海道町村議会議長会議員研修会
4～6日	西紋別地区総合開発期成会要望活動
6日	遠紋地区市町村議会事務局長職員合同研修会
8日	興部保育所運動会
9日	オホーツク圏活性化期成会総務文教厚生専門委員会
11日	興部町戦没者追悼式
12日	群馬県上野村行政視察来町
//	沙留海水浴場海上安全祈願祭
15日	沙留保育所運動会
18日	産業建設常任委員会所管事務調

所管事務調査報告

産業建設常任委員会

産業建設常任委員会は、5月23日に興部北興バイオガスプラントが完成し運転稼働開始から約1年半経過したことより、運営状況について調査しました。

原料受入状況は多少超過状態で調整をしながら運転調整を行い、原料の状態は原料中の有機物濃度に多少のばらつきはあるものの調整範囲内であり順調に受け入れを行っているとのことです。

それにより、消化液の製造については、下水汚泥の受け入れに伴い、下水汚泥との混合消化液は普通肥料として農水省への登録をし、5月10日付で登録証が交付され将来的に安定した消化液製造のため、分析調査を継続します。戻し堆肥

敷料の製造についても順調に製造し、毎月約30t製造し、利用農家へ1t当り4千円で販売をしています。メタン発酵ガスの発生量は発電機が使用したガス量により計測していませんので、

メンテナンスやマフラー増設工事などで発電機の停止時間が比較的多かった夏場にガス量が少なくなっている（実際には、発電機停止中はガスを大気に放出しています）計画値より低くなっています。その結果、発電量についても計画額5千335万円（税込み）／年に対して93・2％という状況です。

平成29年度の運転管理については、施設完成後の平成28年11月からの運転実績を基に改善を進めながら、

取り組みを進めてきた結果、事業収支としては、バイオガス売払い金・プラント使用料・戻し堆肥使用料売払い代金収入から管理委託料支出の差額を、

今後更新車輛等に備え差額を基金化しています（基金積立金1千516万円）。今後においても、安定運転に努めていただきたいと思います。

なお、家庭菜園向け消化液の販売を今年度中に行う予定です。

（記：産業建設常任委員会
委員長 阿部 昭一）



20日 議会広報特別委員会

24日 総務社会常任委員会所管事務調査

26～27日 オホーツク町村議会事務局長研修会

26～28日 オホーツク圏活性化期成会夏季要望活動

8月2日 議会広報特別委員会

5日 おこっぺ夏まつり

8～9日 北海道森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会定期総会

北海道町村議会議員研修会報告

去る、7月3日札幌コンベンションセンターに於いて、北海道町村議会議員研修会が開かれ、「明治維新から150年、現在そして未来を考える」と題して歴史家、作家である加来耕三氏と、「現代日本政治と政局のゆくえ」と題して日本



て、壮年期を迎えやがて衰亡する。国家であれ、時代であれ、個人であれ、組織であれ変わることのない不変の法則であります。好きな時代、好きな人物に特化してリアリズムを学ぶべきであり、我々は一つの人生しか生きられず歴史の世界には無数の学ぶべき事柄があります。なぜ、これに学ばないのか。この人物はなぜこの時右へ行ったのか、もし左へ行っていたらどうなっていたのか、いくらでも考える余地はあります。結果だけで物事を見るのではなく、途中で小さなことでも、立ち止まって物事を見て考えることが大切です。歴史は繰り返します。もつと歴史に学ぶべきであるとお話でした。

岩井氏は安倍首相の三選の可能性や憲法改正の可能性について述べられ、これ

からの地方は多くのアイデアを持つて特性をどういかしていくのか、地方分権を地方から要求するアイデアを持つて国に先んじて、中央に対しても言う自治体であり議会であればならないとお話でした。

編集後記

このたびの豪雨で被災されました皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

6月末から7月の初めにかけての、西日本での、これまで経験したことのない大雨による災害。

東北や北海道では大規模な洪水被害はないといわれてきましたが、ここ数年、最大降雨量に顕著な変化がみられています。東北や北海道でも台風が上陸するケ

町政に於いても、我々の生活に於いても、立ち止まってこれでもいいのか考える時間を持つことは大変貴重であり、これからはこのような時間をもつと大切にしたいと思います。

(記) 広報特別委員会
委員長 藤波 昭博

ースもあり、北海道では、かつて考えられなかった豪雨や高潮被害も起きていて、農業等にも大打撃を与えています。今回ように異常な気候現象により、今後どのような災害が、発生するのかがわからない状況です。

興部町においては、幸い自然災害は少ないですが、防災訓練には真剣に取り組んでいます。ハザードマップなどで身の回りの危険地域を確認しておくこと。避難場所・経路・方法などに



ついで確認しておくこと。高齢者の方などに日頃から声をかけ、災害の支援などを確認しておくことなど今一度、災害に備え準備の確認をしておくことが必要だと思えます。

(記) 広報特別委員会
委員長 阿部 昭一

広報委員長 藤波 昭博
委員 阿部 昭一
委員 佐藤 吉春
委員 竹内 清
議会事務局長 斉藤 英之
議会事務局主査 八木 実央